

アグリビジネス分科会 2007年度 活動報告

農業を取り巻く状況は急変

- 高齢化、食料自給率の低下…

これに加えて

- 輸入作物の値上がり
- 食の安全性の問題

いかに自国の農業を活性化させていくか

今年度の方針

- 先進的取組を行っている自治体の担当者を招いて、取組みについてお話いただく
- オーガナイザー3名体制に変更
 - 塚田周平、高橋修一郎、**島田宝宜**

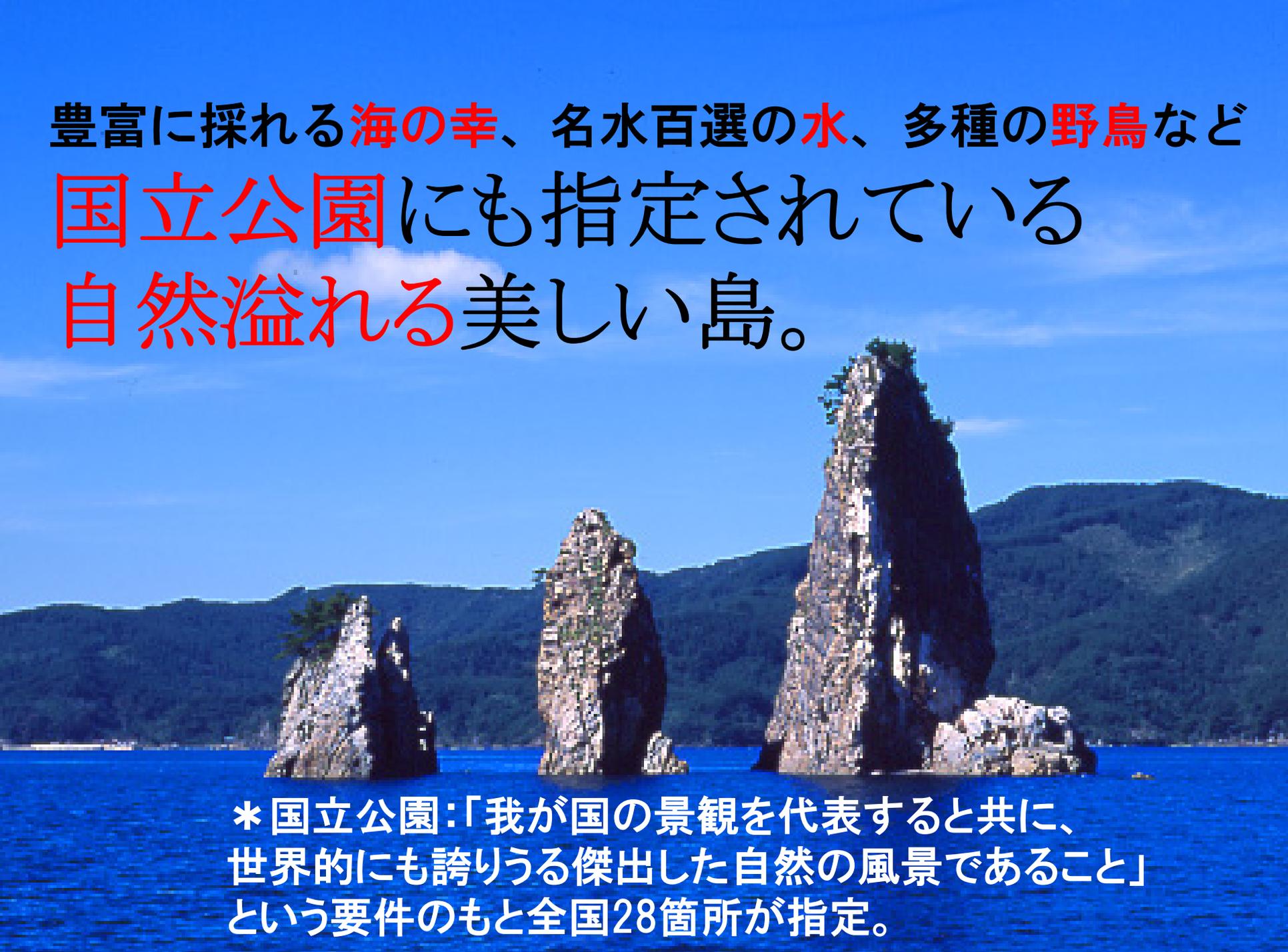


海士町のご紹介

- 海士町教育委員会松前様
- 島根県隠岐郡
- 人口問題、財政問題・・・
- 「日本の尺図」



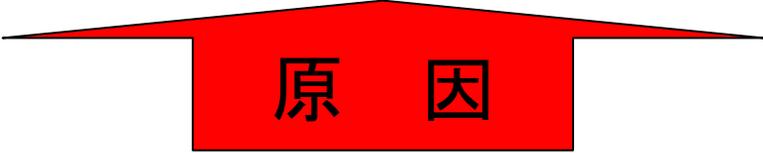
豊富に採れる**海の幸**、名水百選の**水**、多種の**野鳥**など
国立公園にも指定されている
自然溢れる美しい島。



* 国立公園:「我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景であること」という要件のもと全国28箇所が指定。

1.人口問題

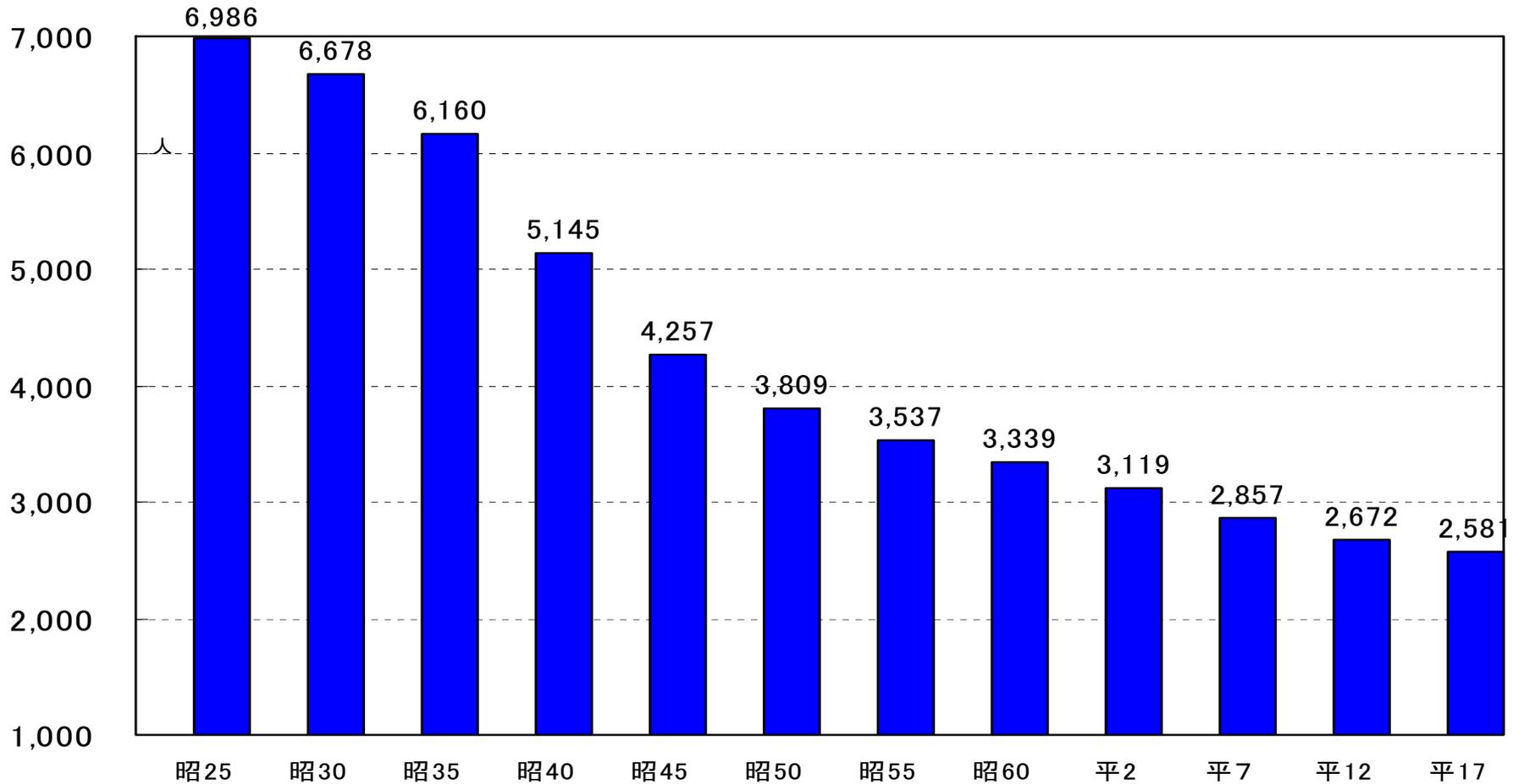
- 超 過 疎
- 超 少 子 化
- 超 高 齡 化



原 因

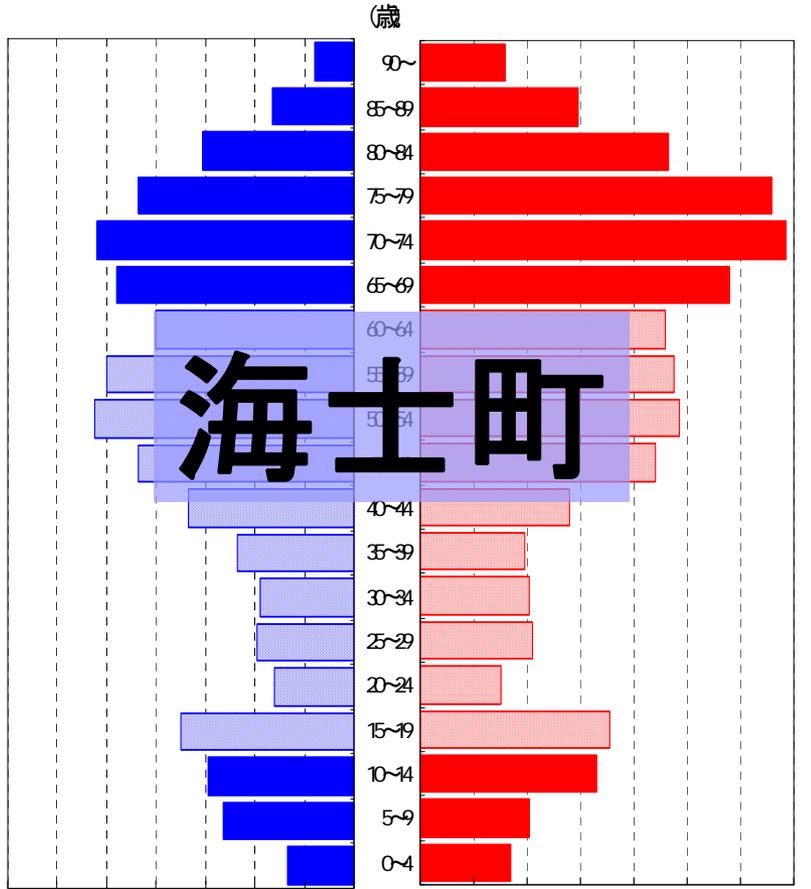
雇用の縮小と都市への流出

人口流出

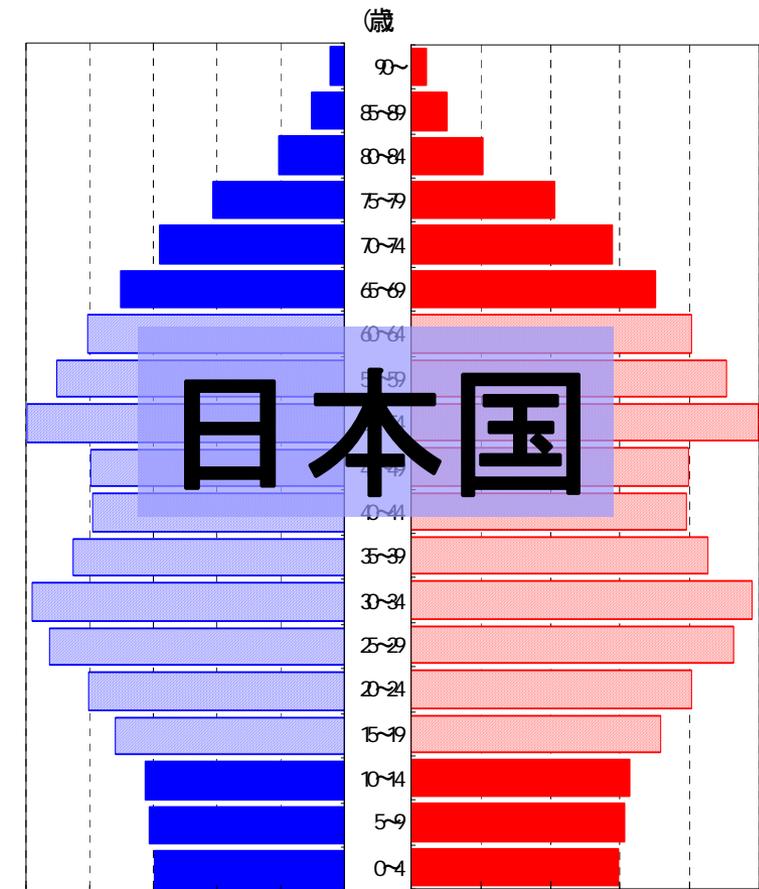


7000人の人口が2500人へ

超少子高齢化



(H15. 12. 26)

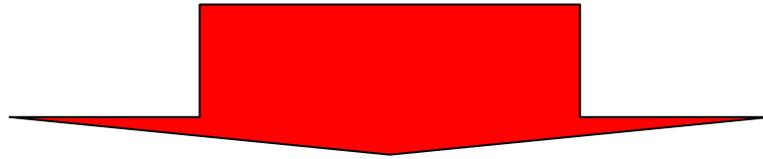


(H15. 10. 01)

人口の約4割が65歳以上
10年後 海士中学全校生徒28名

2.財政問題

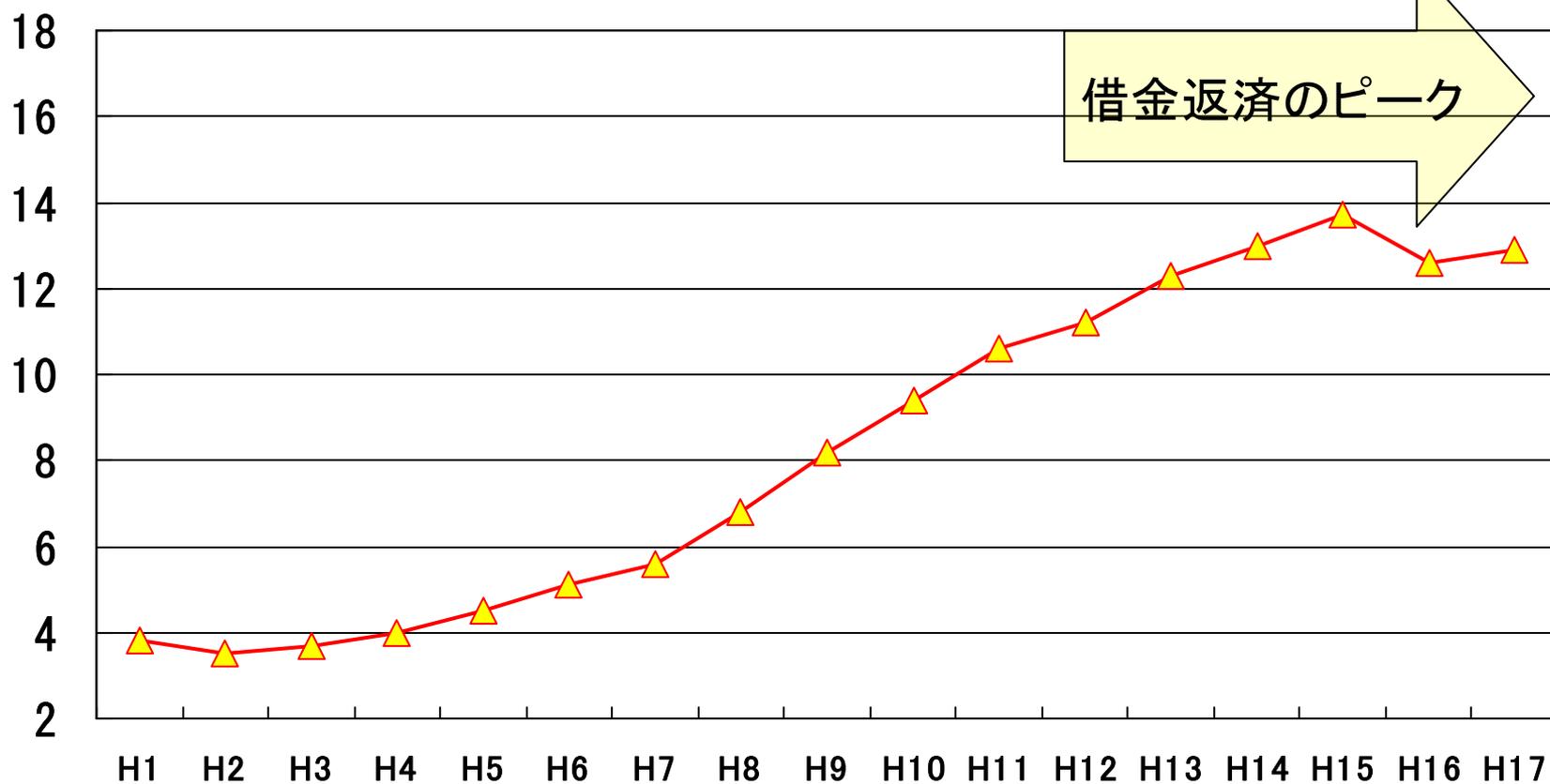
- 平成16年三位一体の改革が本格的に始まる
 - ◆島の雇用、経済を支えてきた公共事業の大幅な削減
 - ◆地方交付税等の突然かつ大幅な削減



島の存続さえも危うい緊急事態に

公共事業で借金の返済が増大

▲ 返済



海士町の取り組み

- 守りと攻め

- コスト削減の徹底

- 人・モノづくり

■シンボル事業の連鎖イメージ

「攻め」の戦略

モノづくり

シンボル
事業

モノづくり

人づくり

健康づくり

地域再生計画の認定(H16.6)



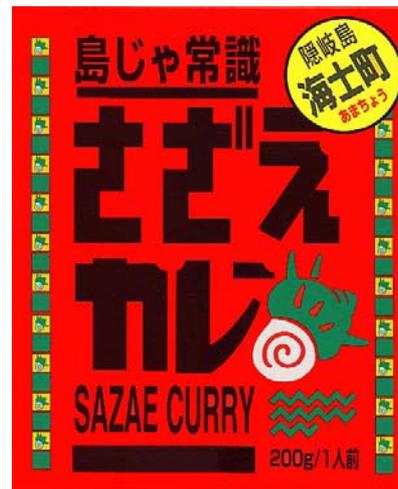
初めてのモノづくり①

■ 産業施策の理念と挑戦への気概

H
9
年
度
発
売



H
10
年
度
発
売



- さざえカレーはブランドとして認知され、高い評価を受けている

モノづくり パート②

- 海士のいわがき『春香』……H12年度発売
 - 東京「築地」でブランド
 - 高レベルの品質管理



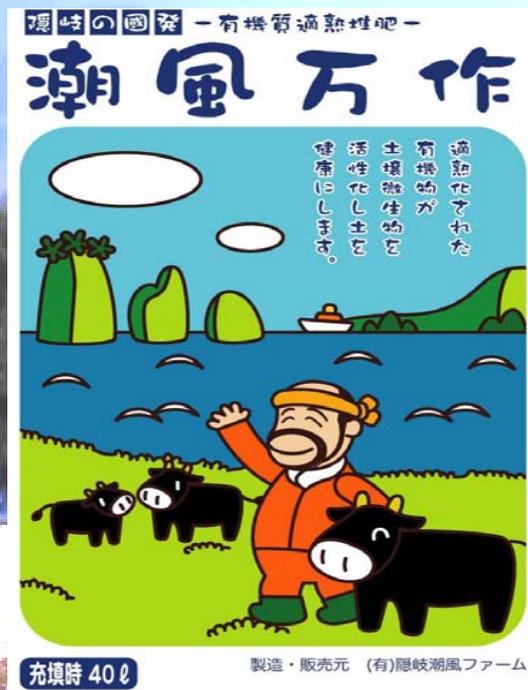
モノづくり パート③ 肉用牛

- **農業構造改革特別区域**の認定(H16.3)
農業分野に建設業が新規参入
- **「島産まれ島育ちの隠岐牛」**のブランド化を目指す → H18年3月に東京食肉市場に出荷
- 出荷実績
A5(71%) 平均単価2,721円
- **海士ファンバンク制度創設**(H18. 11)



モノづくり パート③

- すべて循環・完結できる農業社会の形成
(堆肥等)



モノづくり パート④

■ 手づくりの**天然塩**で食育を・・・H16.5～

- 名水百選の水と手作り伝統製法の復活によるミネラル豊富な『海士の塩』
- 海士らしい**健康**的な商品開発
『海士の塩』で漬けた梅干や塩辛づくり



モノづくり パート⑤

■ CAS(Cells Alive System)新技術の導入

- 素材の細胞を活かしたまま、瞬時に凍結し島で捕れた鮮度そのまま消費者へ
- 離島のハンディを克服する武器として第一次産業の復活と農水産物の高付加価値化を狙う

■ 第三セクター「ふるさと海士」の創設

(H16)

- 雇用の増大と定住促進
- Iターンの人材活用

取り組みまとめ

- 特産品を前面に出したもののづくり
- 農業構造改革を生かした他事業の参画
- 第3セクターの利活用

特産品をいかに魅力ある商品に変えていくか
いかに売り込んでいくか

その他の講演会

- ムジナ米川様
- 早稲田大学農楽塾



来年度の方針

- 「地域のニーズとシーズを掘り起こす」
 - 特に農産業にからんだものづくりを中心に
- 講演形式、毎月開催
- オーガナイザー 高橋 島田 塚田

是非皆様ご参加を！